



訪問ガイド 2026

ルーヴル美術館

パリ・から 49€

<https://musee-du-louvre.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

800年の王宮から国立美術館へ

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 376 831レビュー

TIQETS **4.87** ★★★★★ 328レビュー

ルーヴル宮殿の歴史は1190年、フィリップ・オーギュスト王がセーヌ川右岸に築いた城塞にまで遡ります。当初はパリの防衛拠点であったこの構造物は、後にフランス王の壮大な住居へと変貌を遂げました。800年もの歳月をかけて拡張され、中世の堅牢な石壁からルネサンスの優雅な装飾に至るまで、建築様式は時代ごとに織り交ぜられています。この層の重なりこそが、ルーヴルが単なる美術館ではなく、フランスの歴史そのものを体現する場所であることを示しています。

16世紀、フランソワ1世はルーヴルをパリにおけるルネサンスの象徴と位置づけ、ヨーロッパ各地の巨匠たちに作品の制作を依頼しました。彼は古代の彫刻や絵画を収集し、宮殿の内部を芸術で満たしました。ルイ14世がヴェルサイユに移った後も、王のコレクションはルーヴルに留まり、アカデミーや芸術家たちのアトリエが宮殿内に設置されました。この時期、ルーヴルは活発な芸術交流の中心地となり、後の国立美術館の基盤を築いていきました。

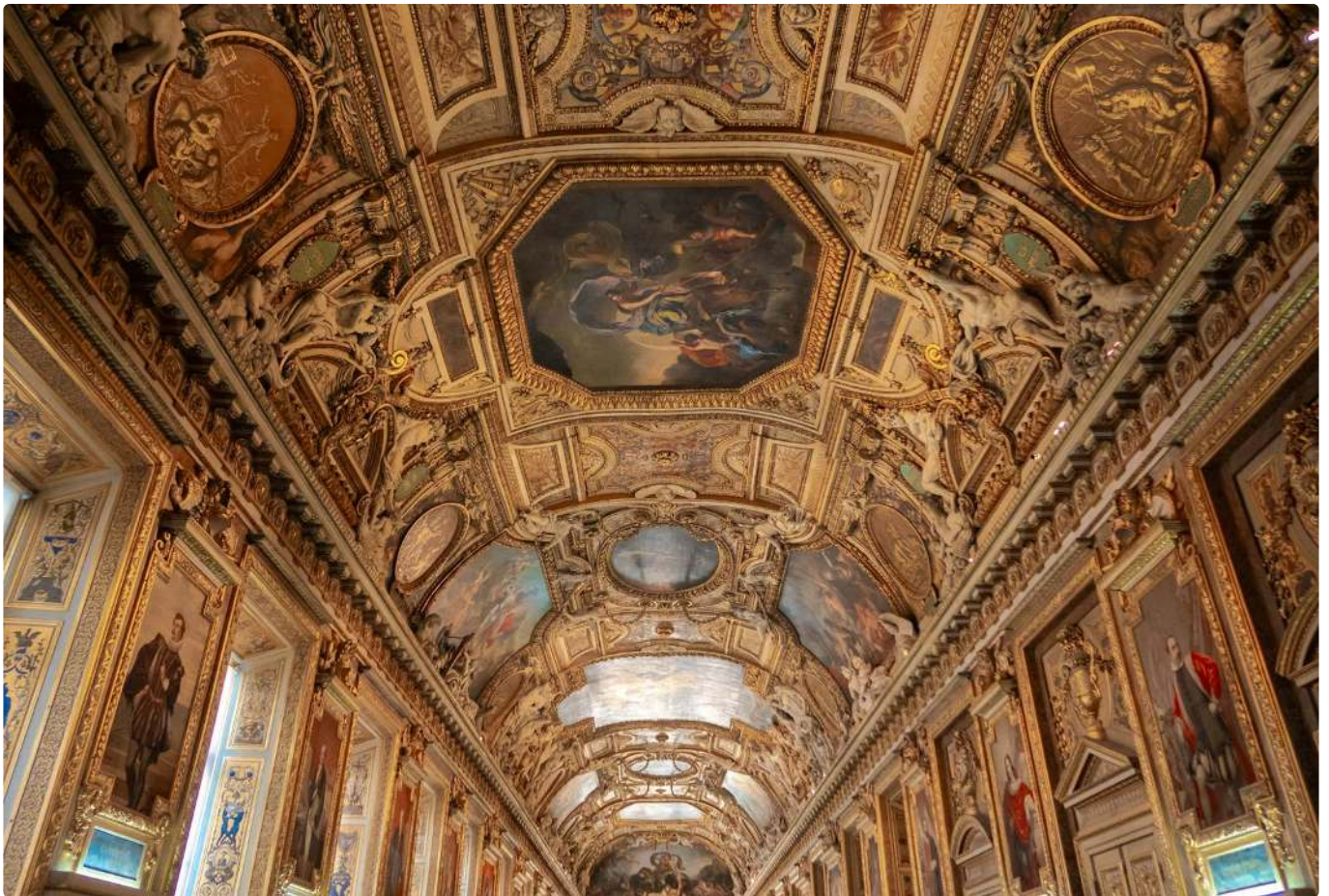
転機は18世紀の啓蒙思想と1789年のフランス革命です。王政の終焉を記念して、1793年8月10日にルーヴルは初めて国立美術館として一般公開されました。亡命貴族や教会から没収された作品が展示され、芸術が王の専有物から国民の財産へと変わった瞬間でした。この開館以来、戦争の戦利品、個人からの寄贈、考古学的発見によってコレクションは膨らみ続け、今日に至ります。

20世紀後半、特に1980年代には、leoh Ming Peiによって設計されたガラスのピラミッドが建設され、大衆観光に対応する現代的な入口が加わりました。この建築的介入は賛否両論を呼びましたが、ルーヴルを世界で最も訪問者数の多い美術館へと押し上げる役割を果たしました。現在、50万点以上の作品を収蔵するルーヴルは、西洋美術と古代文明を網羅する、まさに人類の記憶の殿堂です。

体験

ガラスのピラミッドをくぐり抜け、地下の広間に足を踏み入れた瞬間、訪れる者は圧倒的な静寂と光の浴びる空間に包まれます。天井から降り注ぐ自然光が、歴史的な石造りのアーチを照らし、現代的なガラスの透明感と中世の重厚さが不思議な調和を成しています。ここは単なる入口ではなく、800年の歴史を凝縮した時間のトンネルであり、次の空間への期待が高まる瞬間です。

さらに奥へと進めば、広大な展示室が眼前に開け、セーヌ川を望む開放的なビューが訪れる者の心を解放します。混雑したパリの喧騒から一転、作品と向き合うための精神的な空間が提供されます。足音だけが響く廊下を歩きながら、中世の騎士像からルネサンスの絵画まで、時代を越えた芸術の旅が待っています。この空間は、訪れる者に「ここでしか味わえない」独特の文化的な高揚感を与えます。



訪問の準備

実用的な情報

住所 1区・メトロ : Palais Royal - Musée du Louvre (L1, L7, L14) またはTuileries (L1, L9、徒歩2分)	開館時間 火曜休館。月・木・土・日(は9時-18時、水・金は9時-21時開館。猛暑時の展示室閉鎖についてはご確認ください。
料金 年齢に応じた子ども無料 (バリエーションを確認してください)。{promo}。	見学時間 3〜4時間で必見の名作を慌てずに鑑賞できます。1日あれば複数の部門を探索できますが、美術館は72,735 m²に及びます：一度の見学で全てを見ることは不可能です。
写真撮影 個人利用であればフラッシュなしでの写真撮影は許可されています。三脚とフラッシュは展示室では禁止されています。撮影前に特別展の具体的なルールを確認してください。	対象 家族 (専用スペース、子ども用オーディオガイド)、カップル、アート愛好家向けに適しています。16名以上のグループは特定のツアーを予約する必要があります。美術館は車椅子利用可能です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	地下鉄 / RER : Place Sainte-Opportune — 9 min à pied Gare de l'Est (12 min) · Gare Montparnasse (12 min)
	バス : Victoires — 8 min à pied Gare de l'Est (18 min) · Gare Montparnasse (18 min)
	車 Gare de l'Est (11 min) · Gare Montparnasse (11 min)
	Vélib / 自転車 Gare de l'Est (13 min) · Gare Montparnasse (14 min)

LOCALISATION

Où se trouve ルーヴル美術館？



📍 パリ

🌐 48°51.637' N, 2°20.259' E



組織

3つの翼で構成される巨大な宮殿

地下(ピラミッド入口)

ガラスのピラミッドをくぐり抜けた地下広間は、ルーヴルの主要な入口です。ここではセキュリティチェックが行われ、インタラクティブマップやオーディオガイドの貸出も可能です。広々とした空間は、巨大な宮殿への心理的な準備をさせてくれます。無料のロッカーや情報デスクもこのエリアに集中しています。

1階 (Denon & Richelieu Wings)

1階はルーヴルの心臓部であり、最も著名な作品が集中しています。Denon翼には古代エジプトやギリシャの彫刻、そしてモナ・リザが展示されています。Richelieu翼には中世の芸術やイスラム美術が配置されています。この階は人混みが最も多いですが、必見の名作を効率的に回るための主要ルートです。

2階 (Sully Wing & Upper Floors)

2階は比較的落ち着いた雰囲気で、フランス絵画や18世紀の装飾芸術が展示されています。Sully翼からはセーヌ川を望む絶景が広がり、休憩しながら作品鑑賞を楽しむのに最適です。ここは、混雑を避けつつ、ルーヴルの建築美と自然光の調和を味わうための隠れた宝石のような場所です。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

エレベーター、スロープ、無料車椅子貸出を備えたバリアフリー対応美術館。

ファミリー向け

ファミリー向けコース、ワークショップ、子ども用オーディオガイド、EEA居住の18歳未満は無料入場。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, イタリア語, ドイツ語



必見スポット

選択

絶対に外せない必見の名作たち

01

711

モナ・リザ

世界で最も有名な絵画であり、ルーヴルの象徴です。ダ・ヴィンチの「sfumato（スフマー托）」技法によって描かれた柔らかな輪郭と、謎めいた微笑みが特徴です。展示ケースは反射防止ガラスで保護されており、周囲の混雑を避けて作品に集中できるよう設計されています。鑑賞の際は、彼女の視線があなたを追っているような感覚を味わってみてください。

💡 1911年に盗難された際、犯人は作品を裸で壁から剥がして持ち去ったと伝えられています。この事件が、現在の厳重な警備体制の始まりとなりました。

02

700

ミロのヴィーナス

1820年にミロス島で発見された大理石の彫刻で、両腕が欠けた姿が神秘的な美を醸し出しています。ヘレニズム期の芸術の頂点を示すこの作品は、人体の自然な曲線と理想化されたプロポーションを完璧に表現しています。光の当たり方によって、大理石の質感が生き生きと変化するのが見どころです。

💡 発見当時、農夫が畑を耕していたところ偶然に土の中から出てきたとされています。その後も、欠けた腕の謎は多くの芸術家や研究者を魅了し続けました。

03

700

サモトラケのニケ

勝利の女神ニケが翼を広げ、船の船首に立つ姿を捉えた壮大な彫刻です。躍動感に満ちた衣のしわと、風を切るような姿勢は、ヘレニズム期芸術のダイナミズムを体現しています。ダール階段の頂上に設置されており、下から見上げることでその迫力は一層増します。

💡 1864年にギリシャのサモトラケ島で発見され、フランス大使によってルーヴルに持ち込まれました。頭部と両腕は欠損していますが、その欠落こそが想像力を刺激する要素となっています。

04

331

ハムラビ法典

紀元前1750年頃、バビロニアのハムラビ王が制定した法律を刻んだ玄武岩の石碑です。人類最古の法典の一つであり、王が正義の女神シャマシュから法を受ける場面が上部に描かれています。下部には282条の法律が楔形文字で刻まれており、古代社会の秩序と倫理を垣間見ることができます。

💡 1901年にイランのスーサでフランスの考古学者によって発見され、戦利品としてルーヴルに持ち込まれました。当時のイランとの間で所有権を巡る議論が続いています。

05

700

自由の導き

1830年のフランス革命を象徴する絵画で、自由の女神が三色旗を掲げ、市民を導く姿を描いています。革命の精神が凝縮されたこの作品は、ドラクロワのロマンティシズムの頂点です。前景の死者たちと、背景の炎に包まれたパリ市街が、革命の激しさと悲劇性を表現しています。

💡 ドラクロワは、この作品のモデルとして実在の人物たちを起用したと言われています。自由の女神のモデルは、当時有名な女優であったジュリー・ドレーが務めたとされています。

06

323

跪く書記官

紀元前1400年頃のエジプトの石像で、書記官が跪き、パピルスの前に作業する姿を捉えています。リアルな表情と、細部まで描かれた衣の質感が特徴です。エジプト美術の写実主義と、死者の来世における役割を示すこの像は、古代エジプト社会の知の象徴です。

💡 この像は、ルーヴルのエジプト部門の目玉の一つであり、エジプト学研究者の間でも非常に重要な資料として扱われています。その静かな表情は、見ている者を古代の時間へと引き込みます。

07

700

ヴェロネーゼの「カンティの婚礼」

巨大なキャンバスに描かれた祭典の場面は、ヴェロネーゼの色彩と構図の天才を披露しています。数百の人物が描かれ、光と影の対比が劇的な効果を生み出しています。ルネサンス期からバロック期への移行を示すこの作品は、ルーヴルの絵画部門の中心的な存在です。

💡 この作品は、宗教裁判所に召喚されたヴェロネーゼが、世俗的な人物（ドワーフや犬など）を聖なる場面に描いたことで非難を受けたことで知られています。彼は「画家は画家の自由を持つべきだ」と答えたと言われています。

08

入口

ルーヴルのガラスのピラミッド

1989年に完成したこの建築は、ルーヴルの現代的な顔です。伝統的な宮殿の屋根を覆い隠すことなく、透明なガラスが自然光を内部に導き、空間を明るく開放的にしています。建築的革新と歴史的景観の調和は、世界中の建築家から称賛されています。

💡 設計当初、このピラミッドは「ルーヴルにガラスの墓標を建てる」と批判されましたが、完成後にはパリの新しいランドマークとして愛されるようになりました。

アドバイス

混雑を避けて楽しむプロの裏技

TIMING

最も混雑を避けるのは、水曜日と金曜日の夜間（21時まで）または開館直後の9時です。これらの時間帯は、日中の観光客の波を避け、静かに作品を鑑賞できます。

PARCOURS

ルーヴル全体を見ようとししないでください。3〜5点の主要作品と、興味のある1〜2つの部門を選択し、ルートを決めてから入場します。インタラクティブマップを活用し、回り道を避けて効率的に回ってください。

PAUSE

ルーヴル内には複数のレストランとカフェがあります。昼食に1時間を確保し、体力を回復してください。特に1日を通して見学される場合です。休憩エリアは美術館のマップに示されていますので、事前に確認しておくで安心です。

AUDIOGUIDE

オーディオガイドは6ユーロで、9言語対応です。初来訪者や、作品の背景を知りたい方には非常に価値があります。特に絵画部門や古代彫刻部門では、ガイドの解説が鑑賞の深みを増します。キッズオーディオガイドも利用可能です。

BILLET

無料対象者であっても、オンライン予約は強く推奨されます。繁忙期や週末は時間枠がすぐに埋まるため、少なくとも1〜2週間前に予約し、チケット窓口での待ち時間を回避してください。

PHOTO

モナ・リザやミロのヴィーナスを撮影するなら、9時00分から10時00分の朝の光が最良です。フラッシュを避け、作品を斜めから少しずらして構えることで、反射や背景の群衆なしに作品を捉えられます。

ENFANTS

家族連れの場合、10時00分前の午前枠を優先し、混雑を避けてください。公式サイトでファミリー向けサービスを確認し、子ども用オーディオガイドを活用すると、子どもたちも楽しく見学できます。ばらけた場合のために集合場所を決めておいてください。

CONFORT

72,735 m²の広大な館内を歩き回るため、歩きやすい靴は必須です。入口にクローク（手荷物預け所）があり、大きなスーツケースやバックパックは預ける必要があります。ベビーカーは入口付近の専用スペースに置くことができます。



よくある質問

よくある質問

事前に予約は本当に必要ですか？

はい、無料対象者であってもオンライン予約は強く推奨されます。繁忙期や週末は時間枠がすぐに埋まります。夏や学校休暇中は少なくとも1〜2週間前に予約してください。

キャンセルはいつまで可能ですか？

キャンセルポリシーはチケット提供元によって異なります：24時間前までの無料キャンセルが可能なオファーもあれば、そうでないものもあります。支払い前に正確な条件を確認してください。遅いキャンセルの場合、返金は一部またはなしの場合があります。

現在プロモーションはありますか？

標準チケットやガイド付きツアーには季節限定のプロモーションが定期的に登場します。ファミリーチケットやプレミアムプランが割引されることもあります。購入前にチケットページを確認し、当日のオファーを利用してください。

チケットは特別展にも有効ですか？

はい、同じチケットで常設コレクションと特別展の両方にアクセスできます。これは他の美術館との比較における大きな利点です。訪問前に公式サイトで現在開催中の特別展のリストを確認してください。

ルーヴルの見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

モナ・リザやミロのヴィーナスなどの必見の名作を見るには3〜4時間を計画してください。1日あれば複数の部門を探索できますが、美術館は72,735 m²に及びます。一度の見学で全てを見ることは不可能です。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

世界最大の美術館の規模

展示室とギャラリーの総面積72,735 m²を誇るルーヴル美術館は、サンクトペテルブルクのエルミタージュ美術館（66,842 m²）や中国国家博物館（65,000 m²）を上回っています。この広大な規模が、完全な見学到数日かかる理由を説明しています。実際、50万点以上の作品が収蔵されていますが、一般公開されているのは**36,000点**だけです。

870万人の訪問者

2024年、ルーヴル美術館は870万人の訪問者を迎え、その3分の2が外国人でした。世界で最も訪問者数の多い美術館であり、フランスで最も多くの来場者を集める有料文化施設です。この圧倒的な人気は、日時指定予約の必要性を裏付けています。特に夏や学校休暇中は、時間枠がすぐに埋まるため、早めの計画が重要です。

1793年の開館と革命の記憶

当館は1793年8月、王政の終焉の記念日に開館しました。当時、コレクションにはすでに亡命貴族や教会から没収された作品が含まれており、国立美術館の基盤を築いていました。この開館は、芸術が王の専有物から国民の財産へと変わった歴史的な瞬間であり、フランス革命の精神的な象徴ともなっています。

フランソワ1世とルネサンスの象徴

16世紀、フランソワ1世はルーヴルをパリ中のルネサンスの象徴にしました。彼はヨーロッパ各地から芸術家を集め、宮殿を芸術で満たしました。その後、宮殿は王が住ませた複数のアカデミー、絵画と彫刻のアカデミーを含む、さまざまな芸術家を収容しました。この時期のコレクションが、現在のルーヴルの西洋美術部門の核心を成しています。

博物館周辺

ルーヴルの周辺は、パリの文化の中心地として最適です。すぐ南に広がるトゥイルリ庭園は、見学の合間に休憩をとるのに完璧な場所です。木陰でピクニックをしたり、ベンチで本を読んだりしながら、宮殿の屋根を眺めることができます。庭園を抜けてセーヌ川沿いを歩けば、ゴシック建築の傑作であるノートルダム大聖堂が望めます。左岸の歴史地区を散策し、中世のパリを体験するのもおすすめです。19世紀の印象派を愛する方には、オルセー美術館が近い距離にあり、ルーヴルとの比較鑑賞が楽しめます。また、オランジュリー美術館ではモネの睡蓮を大迫力で鑑賞でき、国立美術館の静かな雰囲気味わえます。見学後は、ルーヴル広場にあるカフェでテラス席に座り、パリの日常を眺めながらコーヒーを味わうのが、旅の締めくくりにふさわしい贅沢です。



ルーヴルを去る時、あなたの心には50万点の作品のうち、数点の忘れがたい記憶だけが刻まれているでしょう。それは単なる見学の成果ではなく、芸術と向き合った時間そのものです。次の訪問では、まだ見ぬ部門や、工事中だった展示室の再会を楽しみにしてください。ルーヴルは一度では決して完結しない、永遠に続く物語です。